

ACI ファブリックの Nexus Dashboard Orchestrator の IPN 全体での QoS 保持、 リリース 4.3.x

### 目次

QoS およびグローバル DSCP ポリシー	. 1
DSCP ポリシーの注意事項と制限事項	. 2
グローバル DSCP ポリシーの設定	. 3
EPG およびコントラクトの QoS レベルの設定	. 5

## QoS およびグローバル DSCP ポリシー

Cisco ACI Quality of Service (QoS) 機能を使用すると、ファブリック内のネットワーク トラフィックを分類し、トラフィック フローの優先順位付けとポリシングを行って、ネットワークの輻輳を回避できます。トラフィックがファブリック内で分類されると、QoS 優先度レベルが割り当てられます。この優先度レベルは、ネットワーク全体で最も望ましいパケットフローを実現するためにファブリック全体で使用されます。

Nexus Dashboard Orchestrator のこのリリースは、ソース EPG または特定のコントラクトに基づく QoS レベルの設定をサポートします。追加のオプションは、各ファブリックで直接使用できます。ACI QoSの詳細については、*Cisco APICおよびQoS* を参照してください。

Cisco ACI ファブリック内でトラフィックが送受信される場合、QoS レベルは VXLAN パケットの外部へッダーの CoS 値に基づいて決定されます。マルチポッドやリモート リーフ トポロジなどの特定の使用例では、トラフィックはサイト間ネットワークを通過する必要があります。この場合、Cisco APIC の管理下にないデバイスはパケット内の CoS 値を変更できます。このような場合、パケット内の Cisco ACI QoS レベルと DSCP 値の間のマッピングを作成することで、同じファブリックまたは異なるファブリックの部分間で ACI QoS レベルを維持できます。

## DSCP ポリシーの注意事項と制限事項

グローバル DSCP 変換ポリシーを設定する場合は、次の注意事項が適用されます。

1

2

SD-WAN 統合とともにグローバル DSCP 変換ポリシーを使用する場合は、

- この章をスキップし、注意事項と制限事項の完全なリストを含むすべての情報こついて、「SD-WAN の統合」章を参照してください。
- グローバル DSCP ポリシーは、オンプレミス サイトでのみサポートされます。
- ・グローバル DSCP ポリシーを定義する場合は、QoS レベルごとに一意の値を選択する必要があります。
- QoS レベルを割り当てる場合、特定のコントラクトまたは EPG 全体に割り当てることができます。

特定のトラフィックに複数の **QoS** レベルを適用できる場合は、次の優先順位を使用して **1** つだけが適用されます。

- o コントラクト QoS レベル: コントラクトで QoS が有効になっている場合は、コントラクトで指定 された QoS レベルが使用されます。
- o 送信元 EPG QoS レベル: コントラクトに QoS レベルが指定されていない場合、送信元 EPG に設定された QoS レベルが使用されます。
- o [デフォルトの QoS レベル (Default QoS level)]: QoS レベルが指定されていない場合、トラフィックにはデフォルトでレベル 3 の QoS クラスが割り当てられます。

### グローバル DSCP ポリシーの設定

#### 始める前に:

- ACI ファブリック内の Quality of Service (QoS) 機能に精通している必要があります。

**QoS** の詳細については、「*Cisco APIC および QoS*」を参照してください。

Cisco ACI ファブリック内でトラフィックが送受信される場合、VXLAN パケットの外部ヘッダーの CoS 値に基づいて決定される ACI QoS レベルに基づいて優先順位が付けられます。マルチポッドおよびリモート リーフ スイッチ トポロジなど、サイト間ネットワークに向けてトラフィックが ACI ファブリックを出ると、QoS レベルは VXLAN カプセル化パケットの外部ヘッダーに含まれる DSCP 値に変換されます。

ここでは、ACI ファブリックを出入りするトラフィックの DSCP 変換ポリシーを定義する方法について説明します。これは、トラフィックが非 ACI ネットワークを通過する必要がある場合に必要です。この場合、Cisco APIC の管理下にないデバイスは、通過するパケットの CoS 値を変更できます。

- 1. Cisco Nexus Dashboard にログインし、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator サービスを開きます。
- 2. 新しいテナント ポリシーを作成。
  - a. 左のナビゲーション ペインから、[構成 (Configure)] > [テナント テンプレート (Tenanat Template)] > [テナント ポリシー (Tenant Policies)] を選択します。
  - b. [テナント ポリシー テンプレート (Tenant Policy Template)] ページ内で [テナント ポリシー テンプレートの追加 (Add Tenant Policy Template)] をクリックします。
  - c. **[テナントポリシー(Tenant Policies)]** ページの右のプロパティ サイトバーにテンプレートの **[名前(Name)]** を入力します。
  - d. **[テナントの選択(Select a Tenant)]** ドロップダウンから、このテンプレートに関連付けるテナントを選択します。

次の手順で説明するようにテンプレートで作成したすべてのポリシーは、テンプレートを特定のサイトにプッシュすると、展開された選択したテナントに関連付けられます。

デフォルトでは、新しいテンプレートは空であるため、次のステップに従って 1 つ以上のテナント ポリシーを追加する必要があります。テンプレートで使用可能なすべてのポリシーを作成する必要はありません。このテンプレートとともに展開する各タイプのポリシーを 1 つ以上定義してください。特定のポリシーを作成したくない場合は、説明されている手順をスキップしてください。

- 3. QoS DSCP ポリシーを作成します。
  - a. [+オブジェクトを作成(+Create Object)] ドロップダウンから [QoS DSCP] を選択します。
  - b. 右のプロパティのサイドバーでは、ポリシーの [名前 (Name)] を指定します。
  - **c.** (オプション) **[説明を追加(Add Description)]** をクリックして、このポリシーの説明を入力します。
  - d. ポリシーの詳細を入力します。
    - [管理状態 (Admin State)]: ポリシーの有効化または無効化。
    - **[詳細設定(Advanced Settings)]**: このセクションの横にある矢印をクリックして展開します。

各 ACI QoS レベルの DSCP 値を選択します。各ドロップダウンには、使用可能な DSCP 値のデフォルトリストが含まれています。レベルごとに一意の DSCP 値を選択する必要があります。

e. 追加の QoS DSCP ポリシーを作成するために、このステップを繰り返します。 通常、マルチサイト ドメインの一部であるすべてのサイトにこのポリシーを一貫して適用することを お勧めします。

- 4. ポリシーを 1 つ以上のサイトに割り当てます。
  - a. ファブリック ポリシー テンプレート ビューで、**[アクション(Actions)] > [サイトの追加/削除(Add/Remove Sites)]** を選択します。
  - b. [<tempalte> にサイトを追加 (Add Sites to <tempalte>)] ダイアログ内でこのポリシー テンプレートのために一つ以上のサイトを選択し [Ok] をクリックします。
  - c. ファブリック ポリシー テンプレート ビューで、「展開 (Deploy) ] をクリックします。

保存して展開すると、DSCP ポリシー設定が各サイトにプッシュされます。構成を確認するには、サイトの APIC にサインインし、[テナント(Tenants)] > [インフラ(infra)] > [ポリシー (Policies)] > [プロトコル(Protocol)] > [L3 トラフィックの DSCP クラス CoS 変換ポリシー (DSCP class-CoS translation policy for L3 traffic)] に移動します。

#### 次に行う作業:

グローバル DSCP ポリシーを定義した後、「EPG とコントラクトの QoS レベルの設定」の説明に従って、EPG またはコントラクトに ACI QoS レベルを割り当てることができます。

# EPG およびコントラクトの QoS レベルの設定

#### 始める前に:

- 「グローバル DSCP ポリシーの構成」で説明されているように、グローバル DSCPポリシーを定義しておく必要があります。
- ACI ファブリック内の Quality of Service (QoS) 機能に精通している必要があります。

**QoS** の詳細については、「*Cisco APIC および QoS*」を参照してください。

ここでは、ファブリック内のトラフィックの ACI QoS レベルを選択する方法について説明します。個々のコントラクトまたは EPG 全体に対して QoS を指定できます。

- 1. Cisco Nexus Dashboard Orchestrator の GUI にログインします。
- 2. 編集するスキーマを選択します。

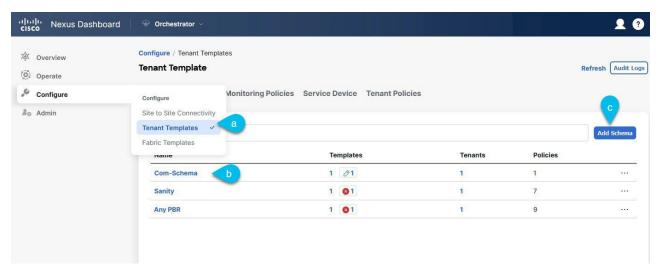


図 1. [構成(Configure)] > [Tenanat テンプレート(Tenanat Template)] > [アプリケーション (Applications)]

- a. [構成(Configure)] > [テナント テンプレート(Tenant Template)] > [アプリケーション (Applications)] > [スキーマ(Schemas)] の順に選択します。
- b. 編集するスキーマの名前をクリックするか、[スキーマの作成(Create Schema)]をクリックして新しいスキーマを作成します。[ポリシーの編集(Edit Policy)]ウィンドウが開きます。
- 3. EPG の QoS レベルを選択します。

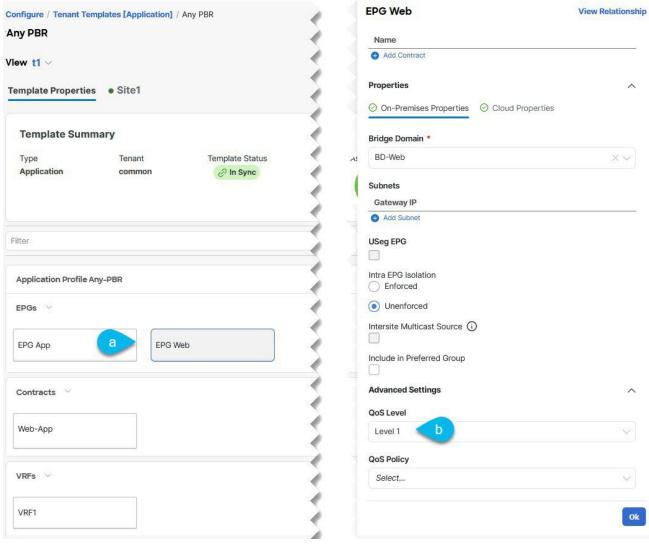


図2ポリシーの編集

- a. メイン ペインで、**[EPG]** エリアまでスクロールダウンして **EPG** を選択するか、**[EPG の追加 (Add EPG)]** をクリックして新しい **EPG** を作成します。
- b. 右側のサイドバーで [QoS レベル (QoS Level)]ドロップダウンまでスクロールし、EPG に割り当てる QoS レベルを選択します。
- 4. EPGの OoS レベルを選択します。

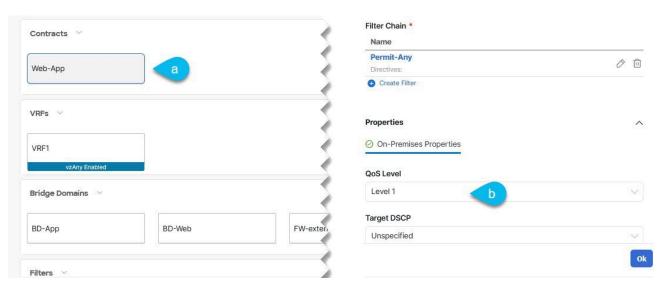


図 3. QoS レベルの選択

- a. メインペインで、**[コントラクト (Contract)]** エリアまでスクロールダウンしてコントラクトを 選択するか、**[+]** アイコンをクリックして新しいコントラクトを作成します。
- b. 右のサイドバーで、**[QoS レベル (QoS Level)]** ドロップダウンまでスクロールし、コントラクト に割り当てる **QoS** レベルを選択します。

初版: 2024年3月1日

最終更新日:2024年3月1日

### 米国本社

Cisco Systems, Inc. 170 West Tasman Drive San Jose, CA 95134-1706 USA

http://www.cisco.com

Tel: 408 526-4000 800 553-NETS (6387) Fax: 408 527-0883